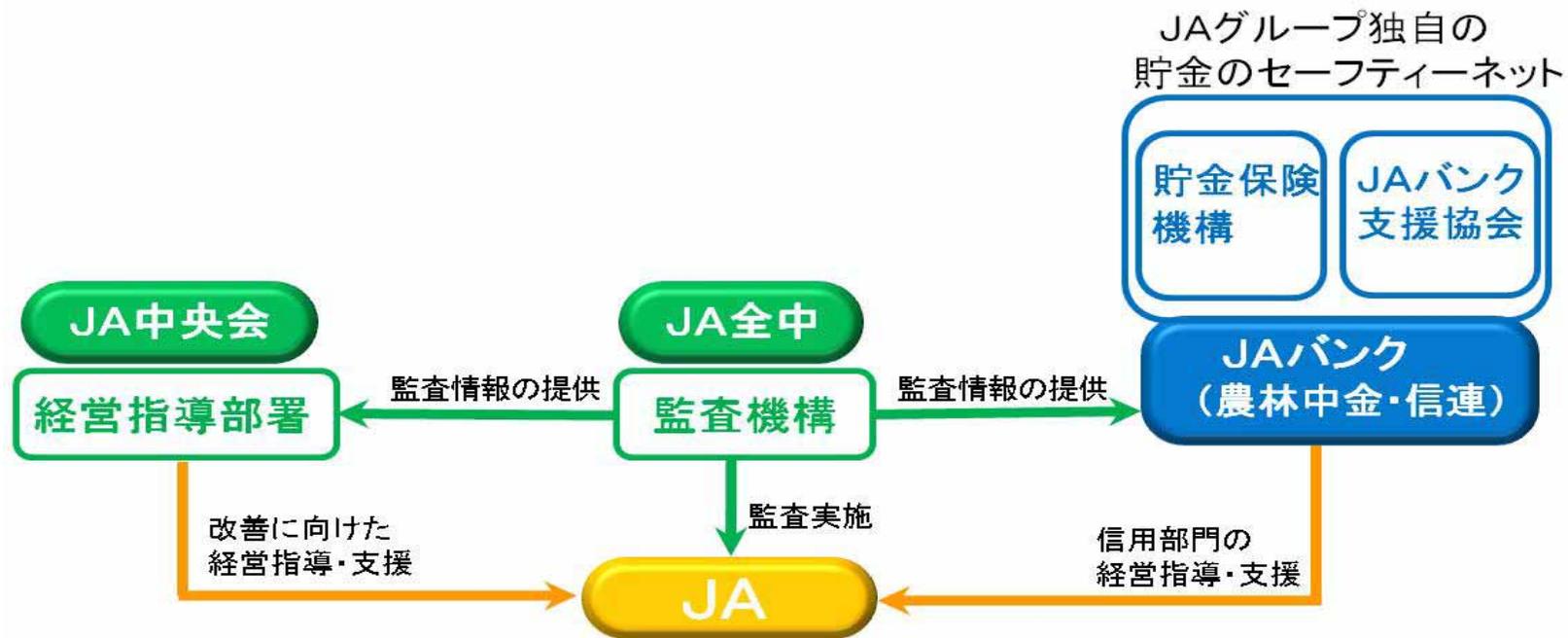


JA全国監査機構監査は、中央会の経営指導、JAバンクシステムと連携し、組合員・利用者保護のためのJAグループシステムを構成しています。

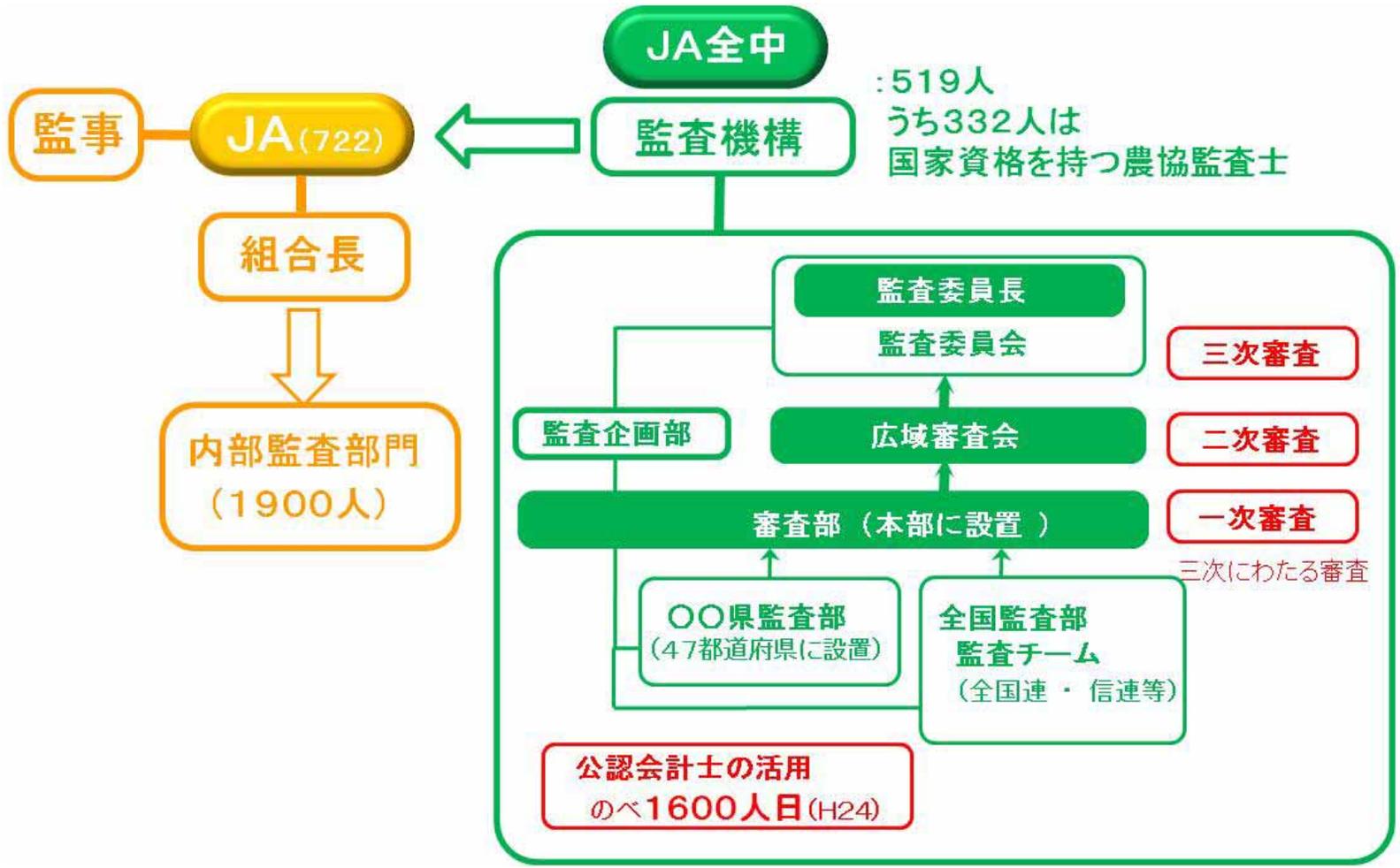


3者が連動することで、JA経営の悪化を早期に発見し、未然に防止

~~これが機能しないと~~

JAが破綻すれば、組合員・利用者に損失が生じ、
JAグループ内の支援のためのコストが増大

JA全国監査機構監査は内部監査ではなく、
JAや信連とは別法人の独立した監査専門組織であり、
大手監査法人に準じた体制を整備しています。



コンプライアンス確立のためには、JAそれぞれの取組みが重要ですが、中央会の経営指導、JA監査機構監査、連合会の事業機能が連携して、その定着をはかっています。

【不祥事が発生したJAの対策】

不祥事を2度と起こさないよう「再発防止策」を策定・実践

重大な不祥事を起こしたJAを「要改善JA」に指定。改善策を指導
(中央会・連合会)

再発防止策が確実に実践されているか直接検証
(JA全国監査機構)

【不祥事を未然に防止する対策】

役職員のコンプライアンス意識の徹底

不祥事防止のため、牽制のとれた業務システムの普及・定着

JAの内部監査の充実・強化

業務監査の強化

コンプライアンス研修の実施
(JA、中央会、連合会)

業務システムの定着・普及
(連合会、中央会)

JA内部監査部門の量的・質的充実
(JA、中央会)

会計監査とあわせ業務監査の強化
(JA全国監査機構)